

第75期

KISSEI REPORT

2019.4.1-2020.3.31

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
剰余金の配当の基準日	期末配当 毎年3月31日 中間配当 毎年9月30日
定時株主総会基準日	毎年3月31日
株主名簿管理人 特別口座 口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話 0120-232-711 (通話料無料)
同 郵 送 先	〒137-8081 新東京郵便局私書箱第29号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
公 告 方 法	電子公告 電子公告掲載 URL https://www.kissei.co.jp/ ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載して行います。
上 場 取 引 所	東京証券取引所 市場第1部

【お知らせ】

ご注意

- 株主様の住所変更、配当金の振込のご指定、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店で支払いいたします。



新緑の上高地、梓川と唐松林



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



独創的な新薬を研究開発し、
世界の人びとの健康に貢献します。

代表取締役会長
最高経営責任者

神津陸雄



当期の概要

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

ここに当社第75期（2019年4月1日から2020年3月31日まで）の事業の概況をご報告させていただきます。

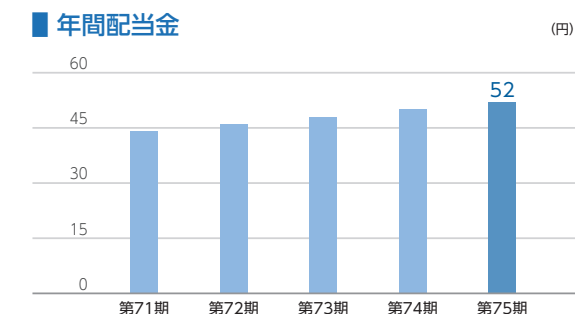
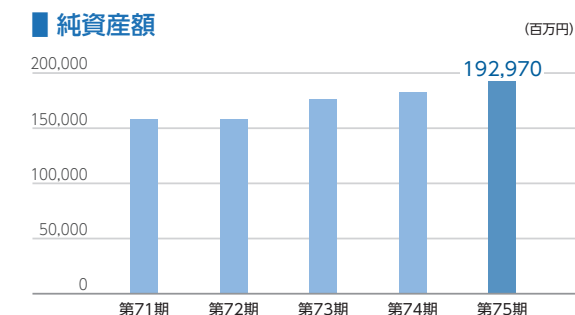
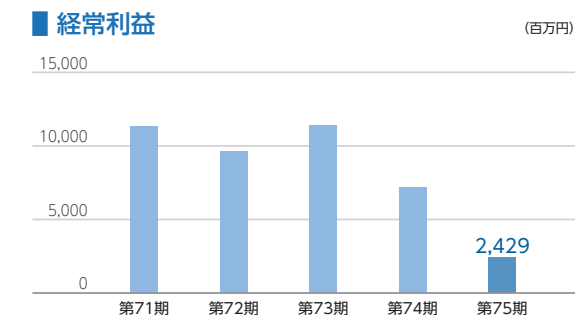
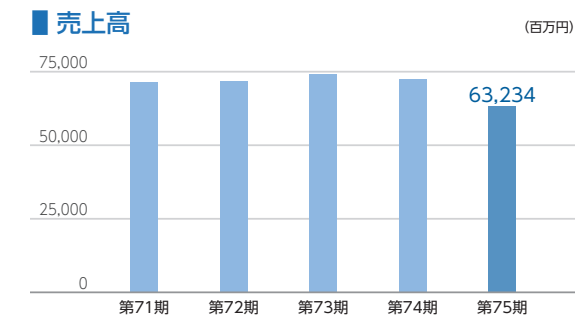
今後とも、株主の皆様の一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当連結会計年度におけるわが国経済は、米中の貿易摩擦などで世界経済の成長が停滞する中、新型コロナウイルスの感染拡大により景気減速への懸念が深刻化するなど、先行き不透明な状況で推移しました。

医薬品業界におきましては、後発品使用促進策等の医療費抑制策の進展に加え、昨年10月には消費税率の引き上げに合わせて薬価改定が実施されるなど、引き続き厳しい経営環境のもとに推移しております。また、情報サービス業界、建設請負業界、物品販売業界におきましては、企業におけるIT投資及び設備投資意欲にも陰りが見え始めるとともに、個人消費の冷え込みや景況感の悪化などから、依然として厳しい競争環境下にありました。

このような情勢の中で、当連結会計年度の売上高は632億3千4百万円（前連結会計年度比12.5%減）、営業利益は18億5千7百万円（前連結会計年度比70.1%減）、経常利益は24億2千9百万円（前連結会計年度比66.1%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は28億1千7百万円（前連結会計年度比48.6%減）となりました。

利益面では、研究開発費を主に販売費及び一般管理費が減少いたしました一方、減収及び売上原価率の上昇がありましたことなどにより、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は減益となりました。なお、特別利益として投資有価証券売却益を計上いたしております。



研究開発の状況につきましては、昨年9月より、ライジェルフーマシューティカルズ社（アメリカ）との間で、日本、中国、韓国、台湾における独占的な開発権及び販売権取得に関する契約を締結いたしました慢性特発性血小板減少性紫斑病治療薬R788（開発番号、一般名：ホスタマチニブ）の国内第Ⅲ相臨床試験を開始いたしました。また、本年3月には、CGオンコロジー社（アメリカ）が膀胱がんを対象に開発中の腫瘍溶解性ウイルス療法CG0070（開発番号）につきまして、同社との間で中国を除く、日本、韓国、台湾等アジア20カ国における独占的な開発権及び販売権取得に関する契約を締結いたしました。脊髄小脳変性症治療薬KPS-0373（開発番号、一般名：ロバチレリン）につきましては、第Ⅲ相臨床試験を終了し、これまでの試験により得られた結果について重症度による部分集団解析などの詳細な検討を行うとともに、当局との協議を進めております。これらの併合解析（事後解析）の結果につきましては、先般、医学雑誌に論文掲載がなされております。なお、ワイズ・エー・シー株式会社から国内での開発権及び販売権を取得し、悪性中皮腫治療薬として開発を進めておりましたYS110（開発番号）は、本剤の開発戦略、当社研究開発パイプライン等を総合的に検討した結果、開発中止を決定し、権利を同社に返還いたしました。

経営ビジョン

世界の人びとの健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し提供する創薬研究開発型企業を目指す

2020年4月～2025年3月
新中期5カ年経営計画

PEGASUS

— 英知の結集、新ステージへの飛翔 —

I. 国内売上の拡大

II. 海外収益基盤の強化

III. 開発パイプラインの拡充

IV. 経営環境の変化に対応する
経営基盤の強化

2020年度の連結業績見通し

売上高 **65,500**百万円

経常利益 **△3,300**百万円

親会社株主に帰属する
当期純利益 **3,100**百万円

2024年度（最終年度）計数目標

連結売上高	870億円以上
単体売上高	750億円以上
— 医薬品 ^{*1}	625億円以上
— ヘルスケア食品	45億円以上
— その他 ^{*2}	80億円以上
連結営業利益	90億円以上
研究開発投資	130億円

^{*1}：原薬・バルク輸出含む
^{*2}：国内販売提携先供給額、技術料売上、コ・プロモーションフィーの合計額

研究開発の状況

経営ビジョンである「世界の人びとの健康に貢献できる独創的な医薬品を開発し提供する創薬研究開発型企業を目指す」の実現のため、研究開発におけるコア領域を定め、積極的に研究開発投資を行うことにより、新薬創出と開発の加速を図っております。また、グローバル市場への進出と拡大を目指し、創製品の技術導出による国際展開を推進しております。

● 自 社

(2020年5月現在)

開発段階	開発番号（一般名）	開発区分	予定適応症	主な作用等	備考
第Ⅲ相	KPS-0373 (ロパチレリン)	導入品/塩野義製薬	脊髄小脳変性症	甲状腺刺激ホルモン 放出ホルモン (TRH) 作用	第Ⅲ相臨床試験終了 PMDAと協議中
	AJM300 (カロテグラストメチル)	導入品/EAファーマ 共同開発	潰瘍性大腸炎	α4インテグリン阻害作用	
	CCX168 (アバコパン)	導入品/ビフォー・フレゼニ ウス・メディカル・ケア・ リーナル・ファーマ (スイス)	顕微鏡的多発血管炎、 多発血管炎性肉芽腫症	補体C5a受容体阻害作用	第Ⅲ相臨床試験終了
	R788 (ホスタマチニブ)	導入品/ライジェルファーマ シューティカルズ (アメリカ)	慢性特発性血小板減少性 紫斑病	チロシンキナーゼ阻害作用	
第Ⅱ相	KLH-2109 (リンザゴリクス)	創製品	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト	
	MR13A9 (ジフェリケファリン)	導入品/丸石製薬 共同開発	透析患者におけるそう痒症	κオピオイド受容体刺激作用	
	KDT-3594	創製品	パーキンソン病	ドパミン受容体刺激作用	

● 導 出

(2020年5月現在)

開発段階	開発番号/一般名	提携企業	権利地域	予定適応症	主な作用等
承認申請中	ミチグリニド (mitiglinide)	エーザイ (日本)	アセアン ^{*1}	2型糖尿病	速効・短時間型 インスリン分泌促進作用
	シロドシン (sildenafil)	エーザイ (日本)	アセアン、インド、 スリランカ ^{*2}	前立腺肥大症に伴う排尿障害	α1Aアドレナリン受容体 拮抗作用
第Ⅲ相	KLH-2109 (linzagolix)	オブシーバ (スイス)	日本、一部のアジアを 除く全世界	子宮筋腫	GnRHアンタゴニスト
	KLH-2109 (linzagolix)	オブシーバ (スイス)	日本、一部のアジアを 除く全世界	子宮内膜症	GnRHアンタゴニスト
第Ⅱ相	ベドラドリン (bedoradrine)	メディシノバ (アメリカ)	日本を除く全世界	喘息の急性発作	β2アドレナリン受容体 刺激作用

^{*1} 発売：タイ、フィリピン、カンボジア、ミャンマー、承認：ラオス、申請中：ベトナム

^{*2} 発売：タイ、インド、インドネシア、フィリピン、カンボジア、ミャンマー、マレーシア、申請中：アセアン2カ国

事業別の概況

医薬品事業

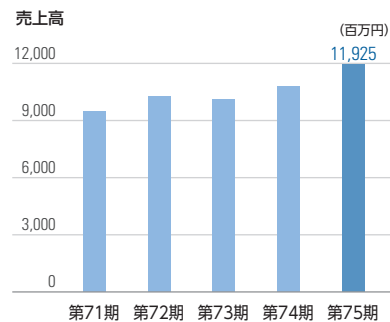
医薬品事業の売上高は513億8百万円（前連結会計年度比16.6%減）となりました。主力製品における積極的な医薬情報活動を推進いたしましたことなどにより、過活動膀胱治療薬「ベオーバ錠」、高リン血症治療薬「ピートルチュアブル錠」及び「ピートル顆粒分包」、糖尿病治療薬「グルベス配合錠」及び昨年6月に新発売いたしました「グルベス配合OD錠」（剤形追加）などの売上が増加いたしました一方、前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬「ユリーフ錠」及び「ユリーフOD錠」の後発品の発売による売上の減少などにより、減収となりました。また、JCRファーマ株式会社と共同開発を行いました腎性貧血治療薬「ダルベポエチン アルファBS注JCR」を昨年11月より発売いたしております。

なお、MSD株式会社が製造販売しております糖尿病治療薬「マリゼブ錠 12.5mg/25mg」、並びに昨年9月に新発売され、フェリング・ファーマ株式会社とともにコ・プロモーション活動を実施してまいりました男性における夜間多尿による夜間頻尿治療薬「ミニリンメルトOD錠25µg/50µg」に加え、夜尿症・中枢性尿崩症治療薬「ミニリンメルトOD錠60µg/120µg/240µg」及び「デスモプレシン製剤」につきましては、本年4月より当社が販売を開始いたしております。



情報サービス事業・建設請負事業・物品販売事業

情報サービス事業の売上高は66億3千1百万円（前連結会計年度比19.9%増）、建設請負事業の売上高は36億1千万円（前連結会計年度比6.5%減）、物品販売事業の売上高は16億8千4百万円（前連結会計年度比21.9%増）となりました。



製商品のご紹介

主な医療用医薬品

泌尿器科用薬剤

- ・ベオーバ錠 過活動膀胱治療薬
- ・ユリーフ 排尿障害改善薬

腎・透析科用薬剤

- ・ピートル 高リン血症治療薬
- ・エポエチンアルファBS注JCR 腎性貧血治療薬
- ・ダルベポエチン アルファBS注JCR 腎性貧血治療薬
- ・フラグミン静注 血液凝固阻止剤
- ・フルスタン錠 活性型ビタミンD₃製剤

代謝内分泌科用薬剤

- ・グルベス 糖尿病治療薬
- ・グルファスト 糖尿病治療薬
- ・ベザトールSR錠 高脂血症治療薬

産婦人科用薬剤

- ・ウテメリン 切迫流・早産治療薬
- ・ゾラデックス1.8mgデポ 子宮内膜症治療薬

眼科用薬剤

- ・リザベン点眼液 アレルギー性結膜炎治療薬
- ・リズモンTG点眼液 緑内障・高眼圧症治療薬

その他の薬剤

- ・サラジエン 口腔乾燥症状改善薬
- ・レクタブル注腸フォーム 潰瘍性大腸炎治療薬
- ・キサンボン 脳循環改善薬
- ・リザベン アレルギー性疾患治療薬
- ・ドメナン錠 気管支喘息治療薬
- ・ガスコン 消化管内ガス駆除薬

ヘルスケア食品

介護・高齢者向け食品

- ・新スルーキング i
- ・のみや水
- ・おかゆケアスルー

エネルギー補給食品

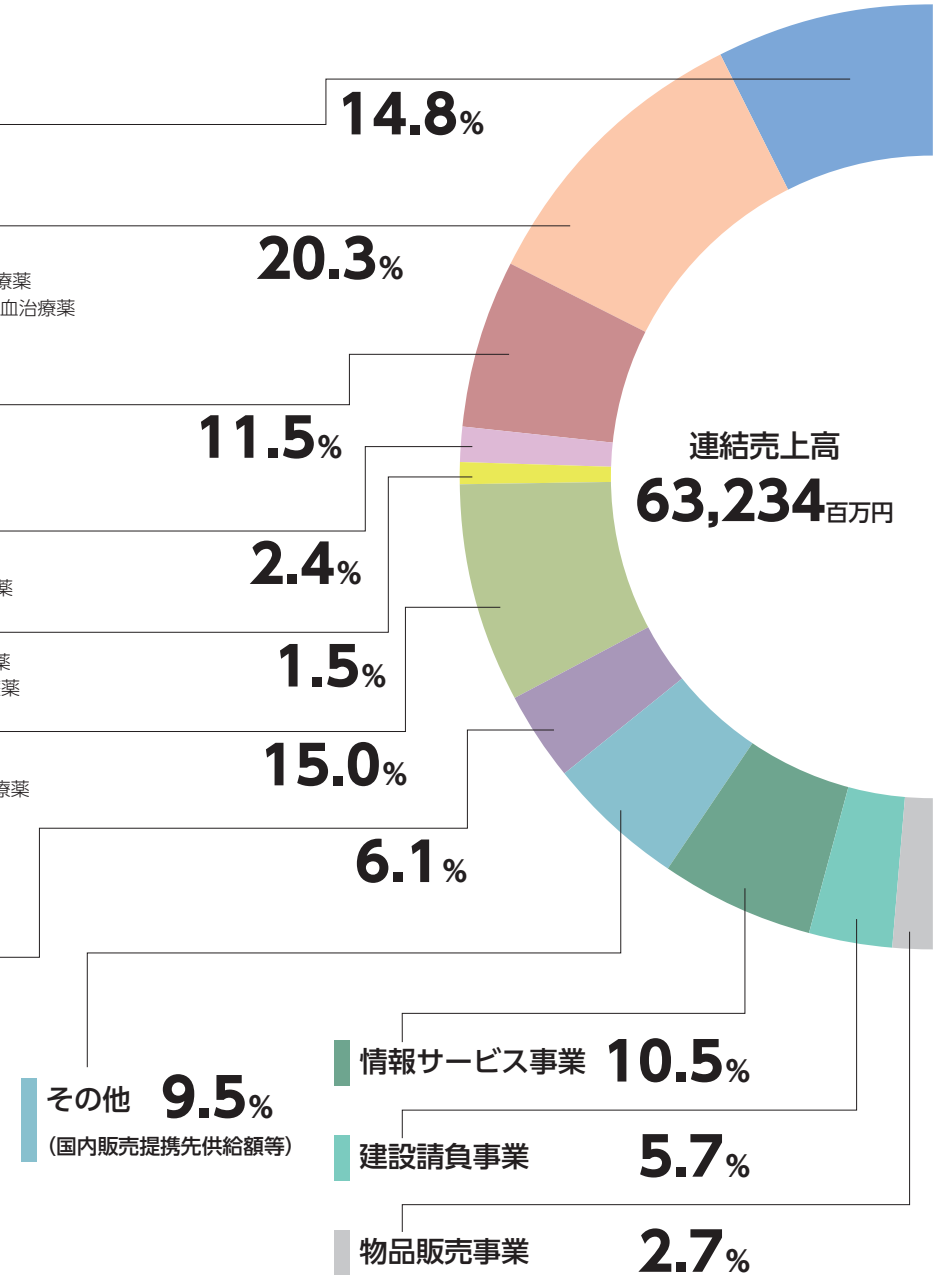
- ・カップアガロリー

たんぱく質調整食品

- ・ゆめごはん

栄養補助食品

- ・えねぱくゼリー



連結財務諸表

●連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2019年3月31日現在)	当連結会計年度 (2020年3月31日現在)	科目	前連結会計年度 (2019年3月31日現在)	当連結会計年度 (2020年3月31日現在)
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産	95,782	96,677	流動負債	13,801	17,024
固定資産	117,739	135,117	固定負債	17,013	21,800
有形固定資産	25,503	24,605	負債合計	30,814	38,824
無形固定資産	1,519	1,511	(純資産の部)		
投資その他の資産	90,716	108,999	株主資本	143,001	143,435
資産合計	213,522	231,794	その他の包括利益累計額	39,261	49,029
			非支配株主持分	444	504
			純資産合計	182,707	192,970
			負債純資産合計	213,522	231,794

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結損益計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	当連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
売上高	72,297	63,234
売上原価	26,731	28,328
売上総利益	45,566	34,905
販売費及び一般管理費	39,363	33,048
営業利益	6,202	1,857
営業外収益	1,224	1,430
営業外費用	257	859
経常利益	7,169	2,429
特別利益	4	2,264
特別損失	53	62
税金等調整前当期純利益	7,121	4,630
法人税、住民税及び事業税	1,634	390
法人税等調整額	△47	1,351
当期純利益	5,535	2,888
非支配株主に帰属する当期純利益	54	71
親会社株主に帰属する当期純利益	5,481	2,817

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

●連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2018年4月1日から 2019年3月31日まで)	当連結会計年度 (2019年4月1日から 2020年3月31日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,346	13,934
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,087	490
財務活動によるキャッシュ・フロー	△2,306	△4,419
現金及び現金同等物に係る換算差額	1	△0
現金及び現金同等物の増減額	1,954	10,004
現金及び現金同等物の期首残高	47,360	49,315
現金及び現金同等物の期末残高	49,315	59,319

(注) 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

TOPICS

「ミニリンメルト」及び「デスマプレシン製剤」の国内販売権移管

当社は、2020年2月に、フェリング・ファーマ株式会社（以下「フェリング」）との間で、フェリングが創製し、当社がそのポテンシャルが高く優れていると評価したデスマプレシン酢酸塩水和物を有効成分とする「ミニリンメルト」及び「デスマプレシン製剤」の国内販売権の許諾契約を締結いたしました。

本製品群のうち、ミニリンメルトOD錠25μg/50μgについては、2019年6月にフェリングが国内で初めて「男性における夜間多尿による夜間頻尿」の適応症で製造販売承認を取得し、両社で締結したコ・プロモーション契約に則り、共同で医療機関等への医薬情報提供活動を行ってまいりました。今回の契約締結により、ミニリンメルトOD錠25μg/50μgは2020年4月1日から、ミニリンメルトOD錠60μg/120μg/240μg（適応症：尿浸透圧あるいは尿比重の低下に伴う夜尿症^{※1}、中枢性尿崩症）及びデスマプレシン製剤（適応症：夜尿症、中枢性尿崩症等^{※2}）は2020年4月27日から当社が販売・流通を担当し、フェリングと共同で医薬情報提供活動を行っております。

当社は泌尿器を重点領域のひとつとして位置付けております。前立腺肥大症に伴う排尿障害改善薬ユリーフ、過活動膀胱治療薬ベオーバといった従来の製品ラインアップにミニリンメルト及びデスマプレシン製剤が加わることで、泌尿器疾患でお悩みの幅広い年齢層の患者さんのQOL（生活の質：Quality of life）の向上により一層貢献できるものと考えております。

※1 ミニリンメルトOD錠120μg/240μgのみ

※2 製品によって適応症が異なります



介護・高齢者向け食品「おかゆケアスルー」新発売



当社は、2019年10月におかゆに混ぜる粉末の調整食品として「おかゆケアスルー」を新発売いたしました。おかゆケアスルーは、でんぷん分解酵素と増粘成分をバランスよく配合し、酵素のはたらきにより離水や、べたつきをおさえ、温かいおかゆはもちろんのこと、冷めたおかゆでも、やわらかく調整することができます。

当社は、おかゆケアスルーが、要介護の方や高齢の方、また、摂食嚥下が困難な方々にとりまして、お食事を楽しみ、安心しておかゆをお召し上がりいただける一助となることを期待しています。

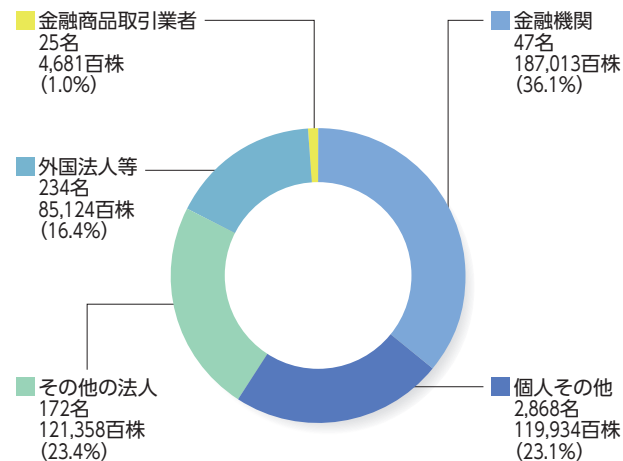
株式の状況

発行可能株式総数 227,000,000株
 発行済株式の総数 51,811,185株
 株主数 3,346名 (前期末比増減5名増)
 大株主

株主名	持株数	持株比率
第一生命保険株式会社	32,000株	6.8%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	29,459	6.3
株式会社八十二銀行	23,333	5.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	22,983	4.9
株式会社みずほ銀行	18,334	3.9
有限会社カンザワ	16,782	3.6
神澤陸雄	15,416	3.3
キッセイグループ従業員持株会	12,294	2.6
鍋林株式会社	12,223	2.6
株式会社長野銀行	11,260	2.4

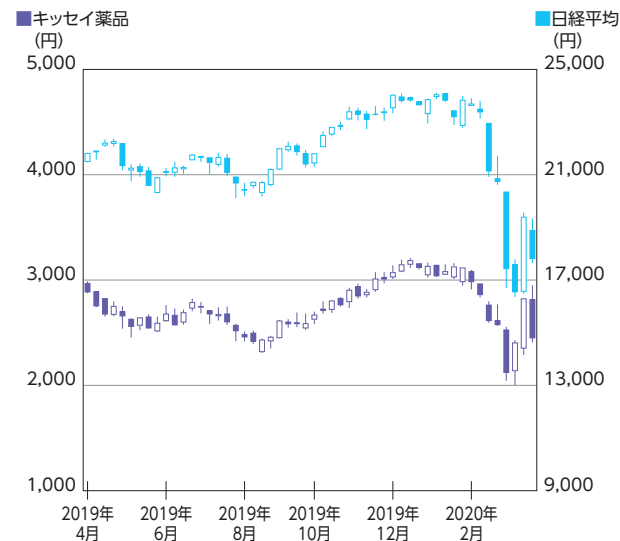
(注) 1. 当社は自己株式5,095,024株を保有しておりますが、上記大株主には記載しておりません。
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●所有者別分布

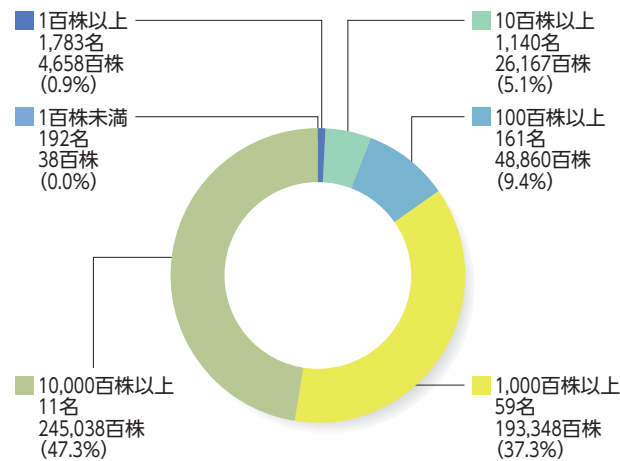


●株価チャート

(2020年3月31日現在)



●所有株数別分布



会社概要

(2020年3月31日現在)

社名 **キッセイ薬品工業株式会社**
 英文社名 KISSEI PHARMACEUTICAL CO., LTD.
 設立 1946年(昭和21年)8月9日
 資本金 24,356,653,478円
 主要な事業内容 医療用医薬品の研究・開発・製造・販売
 従業員数 1,479名

事業所 本社
 〒399-8710
 長野県松本市芳野19番48号
 電話 (0263) 25-9081
 東京本社
 〒103-0022
 東京都中央区日本橋室町一丁目8番9号
 電話 (03) 3279-2761
 東京本社(小石川)
 東京都文京区小石川三丁目1番3号
 支店
 北海道支店、東北支店、関越支店、東京支店、
 神奈川支店、松本支店、東海北陸支店、関西支店、
 中四国支店、九州支店
 (注)支店の下に50営業所を設置しております。

工場
 松本工場、塩尻工場

研究所
 中央研究所・第二研究所・製剤研究所
 (長野県安曇野市)
 上越化学研究所
 (新潟県上越市)
 ヘルスケア事業センター
 (長野県塩尻市)

(2020年6月26日現在)

●役員

代表取締役会長	神澤陸雄	取締役	相良純徳
代表取締役社長	降旗喜男	取締役	北原孝秀
取締役副社長	佐藤公衛	社外取締役	清水重孝
専務取締役	福島敬二	社外取締役	野村稔
常務取締役	竹花泰雄	社外取締役	内川小百合
常務取締役	高山哲	常勤監査役	伊佐治正幸
取締役相談役	両角正樹	監査役	米窪真人
取締役	松下英一	社外監査役	中川寛道
取締役	菊池伸次	社外監査役	岩淵道男

Information



ホームページのご案内

当社のホームページにて、タイムリーな情報を提供しています。是非アクセスしてください。

アドレスはこちら↓
<https://www.kissei.co.jp/>

以下の報告書をホームページに掲載しています。

CSR報告書 2019

環境やCSRに関する取り組みを「CSR報告書」としてまとめています。



Annual Report 2019

海外投資家向けの情報を英語で掲載しています。

資料請求のご連絡先：広報部 TEL：0263-25-9523
 (土・日・祝日、当社休日を除く月～金 8：40～17：20)